

# 信州こどもカフェ推進上田地域プラットフォーム

## 主な取組内容

令和6年度は、継続的な支援活動の一環として、食を通じた支援と地域のつながりづくりを目的に、フードドライブを年3回実施しました。

7月には、プラットフォーム構成員の資質向上と相互理解を目的とした研修として全体会を開催し、子どもと関わる分野で豊富な経歴を有する講師を招いた講演会を実施しました。講演を通じて、現代社会における子どもを取り巻く課題や、地域における大人の関わりの重要性について学びを深めるとともに、構成員同士の交流促進につながりました。

また、7年2月に地域で子どもを育むプロジェクト助成事業（長野県社会福祉協議会）および長野ろうきん・こども基金助成事業を活用し、プラットフォーム主催事業として、ドキュメンタリー映画『夢みる校長先生』上映会および「～音楽と絵本で感じる～ピースコンサート」を中心とした複合的な事業『信州こどもカフェフェスティバルin上田2025』を実施しました。

これらの取組を通じて、子どもの育ちを地域全体で支える意義について多様な立場の参加者と共有する機会を創出しました。

本事業は、プラットフォームメンバーや関係者、上田地域内で活動するこどもカフェ運営団体、学生ボランティア、さらに本テーマに関心を持つ一般の方々を対象として実施しました。

イベント当日は、会場内に「こども遊びコーナー」を設置し、ワークショップ「ペットボトルdeマラカスづくり」やテレビゲーム・ボードゲームコーナーを展開しました。高校生・大学生ボランティアが中心となって運営に関わり、子どもと一緒に遊びながら関係性を築くことで、こどもカフェのあたたかな雰囲気を感じられる場となりました。併せて、上田地域で活動する信州こどもカフェの取組を紹介するパネル展示を行い、来場者に対して、こどもカフェの役割や日常的な活動内容について理解を深めていただきました。

プログラムの中心となる映画上映では、ドキュメンタリー映画『夢みる校長先生』を上映し、子どもを取り巻く教育や地域との関わりについて、来場者が自ら考える機会を提供しました。

また、「親子で楽しむ♪楽器で遊ぼう！コンサート」では、参加型プログラムを取り入れ、親子で音楽に親しみながら、表現する楽しさや他者と関わる喜びを感じられる時間を創出しました。さらに、「～音楽と絵本で感じる～ピースコンサート」では、音楽絵本『ピースをさがして』の朗読演奏やトークショーを通じて、平和や思いやりについて世代を越えて考える機会としました。

そのほか、防災意識の啓発を目的として災害時用五目御飯の提供を行うとともに、来場者へのプレゼントとして防災食や飲料水等を配布しました。本事業の参加者数は延べ150名となり、多くの方にご来場いただき、こどもカフェおよびプラットフォームの取組を知っていただく貴重な機会となりました。

今後も、関係団体や地域住民との連携を一層深めながら、地域全体で子どもを育む体制づくりを継続的に推進していきます。



## 特徴・これまでの成果

こどもカフェ運営者や学生ボランティア、地域住民が参加することで世代・分野を越えた交流と連携が生まれ、映画上映や音楽・絵本、パネル展示を通じて、こどもの居場所の重要性と地域で育む意義が共有されました。あわせて、学生主体の遊びコーナーや防災食の提供により、若い世代の地域福祉への参画意識向上と、安心して参加できる居場所づくり・防災意識の醸成に寄与しました。

## 今後に向けた課題

- ・こどもカフェ運営者間の交流を継続し、連携を深めるネットワークづくりを進めます。
- ・新たな担い手やボランティアが継続的に参画できる仕組みづくりを行います。
- ・学校や関係機関と連携し、こどもカフェの認知度向上と広報の強化を図ります。
- ・助成金や寄付金を活用し、安定した運営体制の構築に取り組みます。